

の家入堀田村越二年の古十余人を卒し其夜密に
保川小忍入夜討ふ火を拭折節風烈炎吹く
陳中焼失秋田定季敗北堀田村越敵北首百余
級亦取其後秋田方八千北兵大敗戸沢家人
竹内尾張守戸沢彦八郎白石八郎兵衛堀田三平
細田助市黒川縫殿隠明寺九八等あり以合戦が
因に平三郎秋田定季を能見知り大長刀を勝負
定季式人又寸の太刀定季妻手北肩先をきりし
因に眉間を切じ討死し首をむ秋田主水是を取
黒川縫殿助も其首を奪ひ返す因に嘉嘉市兄

北平三郎を討て急念小思ひ従兵三十余人定季を追
拭近ふく秋田と呼り大將敵跡を見し其年の
を度りやとのより近拭し將て定季痛手致多き
危き処桶中澤正因に追拂ひ敗軍あり夜深
及ふ及月十日首交換秋田方三浦門記畠山勘十郎
荒木兵部桶中次郎を討て二十一人津佐のか
路を及平十郎松前の軍將三人相夷御年六千
余人都合ふりて百余人あり毒盛公悦喜小思ひ候
得共我々人北下知し依大勢死傷も及変嘉事小水
と服夷の歸卒する余人其介死傷も及者其の數計と